arcserve®

Last Update: 2022-04-15

Arcserve®ライセンスキー仕様変更（Golden Key導入）について

1. 変更内容

2015 年 4 月より、ライセンスプログラム製品に関して、従来の個別のライセンスキーにて契約毎の数量を管理する仕組みから、数量と機能を限定しないライセンスキー（Golden Key）へ変更となりました。これにより、追加のライセンス購入時に新たにライセンスキーを適用するという手間を省くことが可能となります。
ご購入のライセンス（製品・数量）の範囲にてご使用ください。

なお、パッケージ製品について変更はございません。従来通り購入製品・数量で限定されたライセンスキーでのご提供となります。

2. 影響

製品動作への影響はございません。プログラム証書及びライセンス管理画面での表示が変更となります。

3. プログラム証書での表示

Arcserve UDP は、Arcserve UDP 用の他、Arcserve Backup 用　及び Arcserve Replication/ High Availability 用のライセンスキー（Premium Plus Edition 相当）を記載しております。
また UDP のすべての Edition で同じ内容のライセンスキーとなります。
例えば、UDP Advanced Edition をご購入の場合も Premium Plus Editio 相当のライセンスキーが記載されていますが、ご購入の UDP Advanced Edition の機能と数量の範囲でご利用ください。

Arcserve Backup は、本体製品、Option 製品、Agent 製品のすべてにおいて記載されているライセンスキーは同じ内容の Golden Key になります。Golden Key のライセンスキーを 1 つ登録していただくだけで、他の購入された製品も利用可能となります。

Arcserve Replication/High Availability は、すべての Edition で同じ内容のライセンスキーを記載しております。

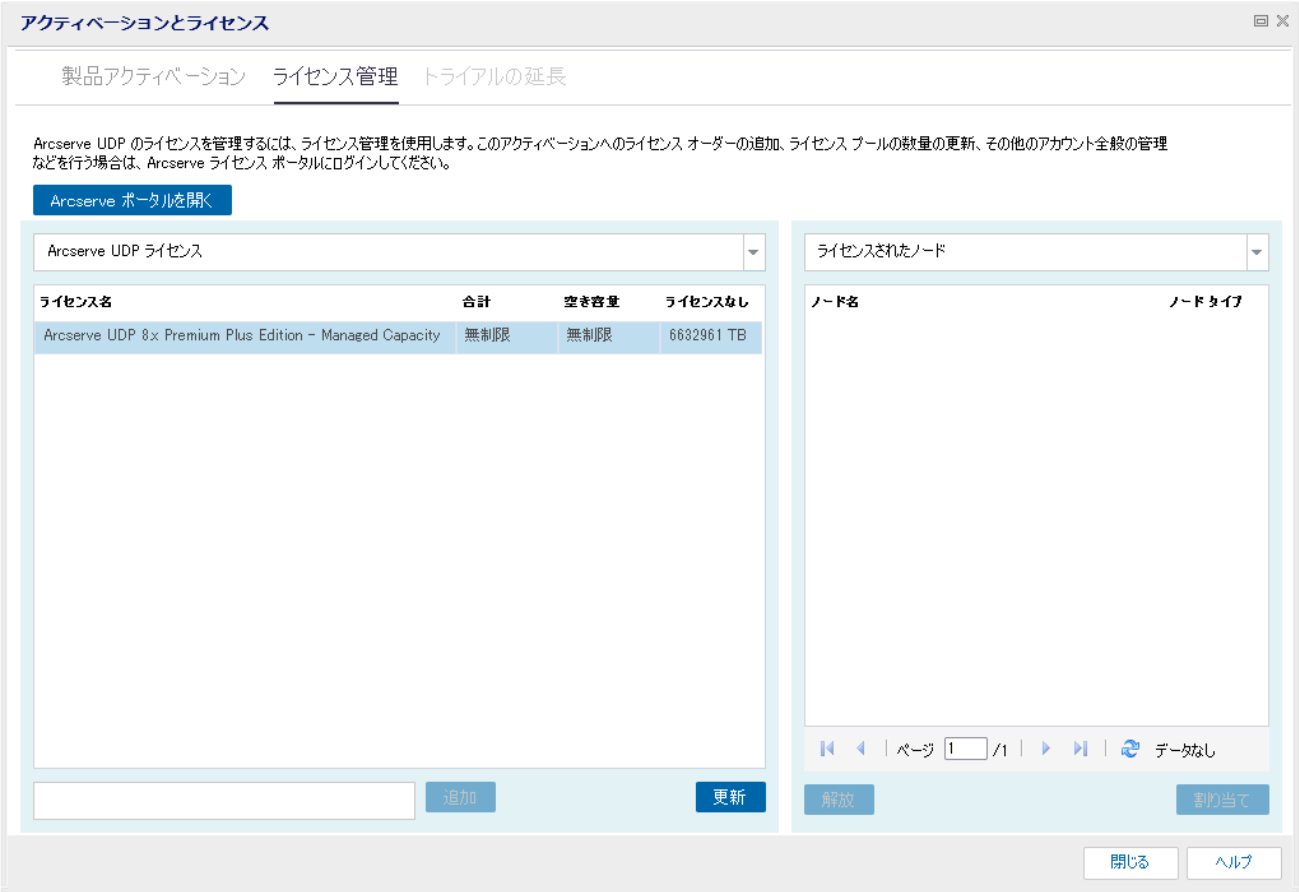
4. ライセンス管理画面での表示

>> Arcserve Unified Data Protection (UDP)
>> Arcserve Backup
>> Arcserve Replication/High Availability

Arcserve Unified Data Protection (UDP)

【UDP 8.x】

統合管理コンソールをご利用の場合には、ライセンス名が「Arcserve UDP 8.x Premium Plus Edition - Managed Capacity」、合計が「無制限」、空き容量が「無制限」と表示されます。



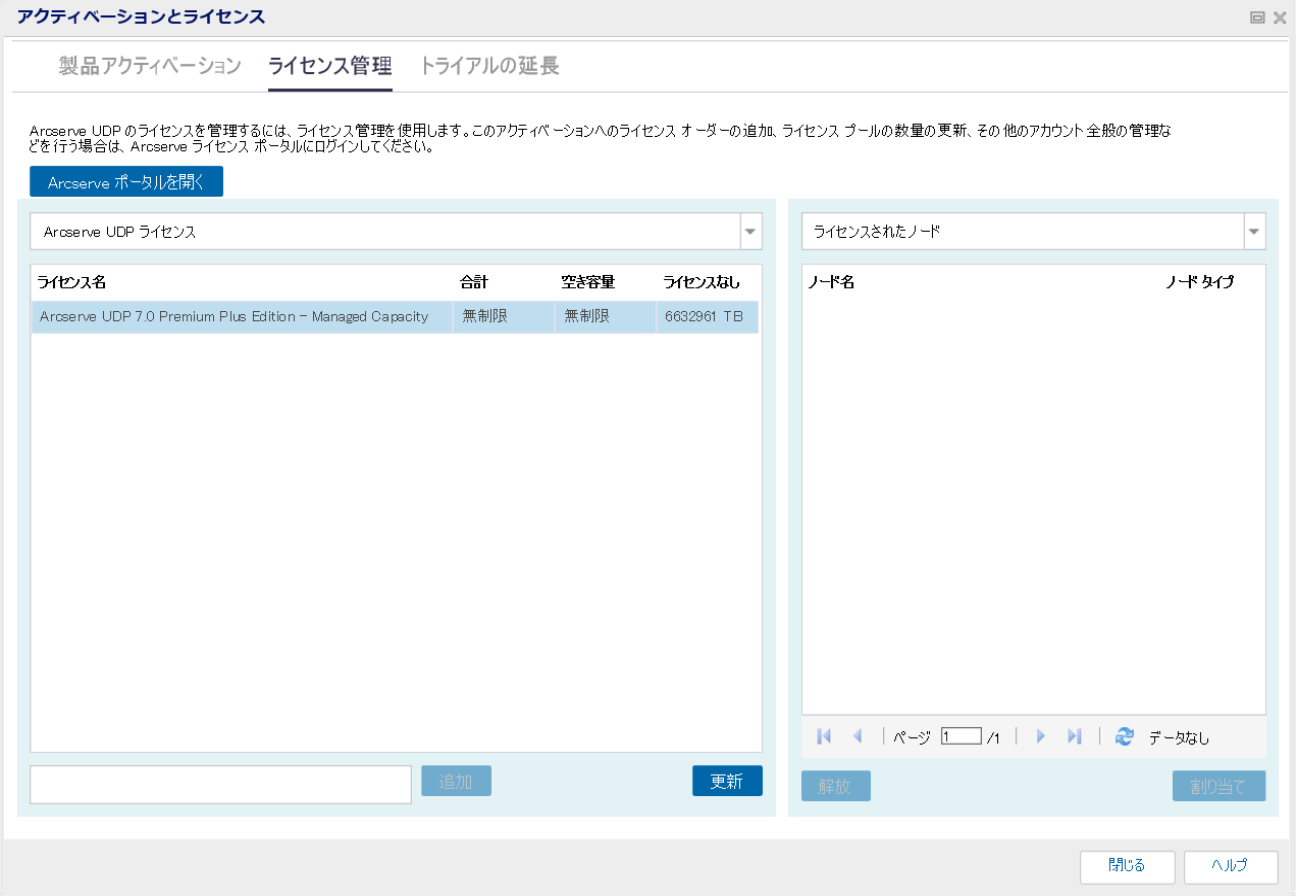
UDP 8.x（Windows エージェント）は、コンポーネント名が「Arcserve UDP 8.0 (stand-alone)」、ライセンス数が「999999999」と表示されます。

UDP 8.x（Linux エージェント）は、コンポーネント名が「Arcserve UDP 8.0 Agent (stand-alone)」、ライセンスが「999999999」と表示されます。

※UDP エージェントを単独(stand-alone)で利用されず統合管理コンソールで管理する場合、エージェント側でのライセンス登録は不要です。代わりに統合管理コンソール側でライセンスを登録してください。

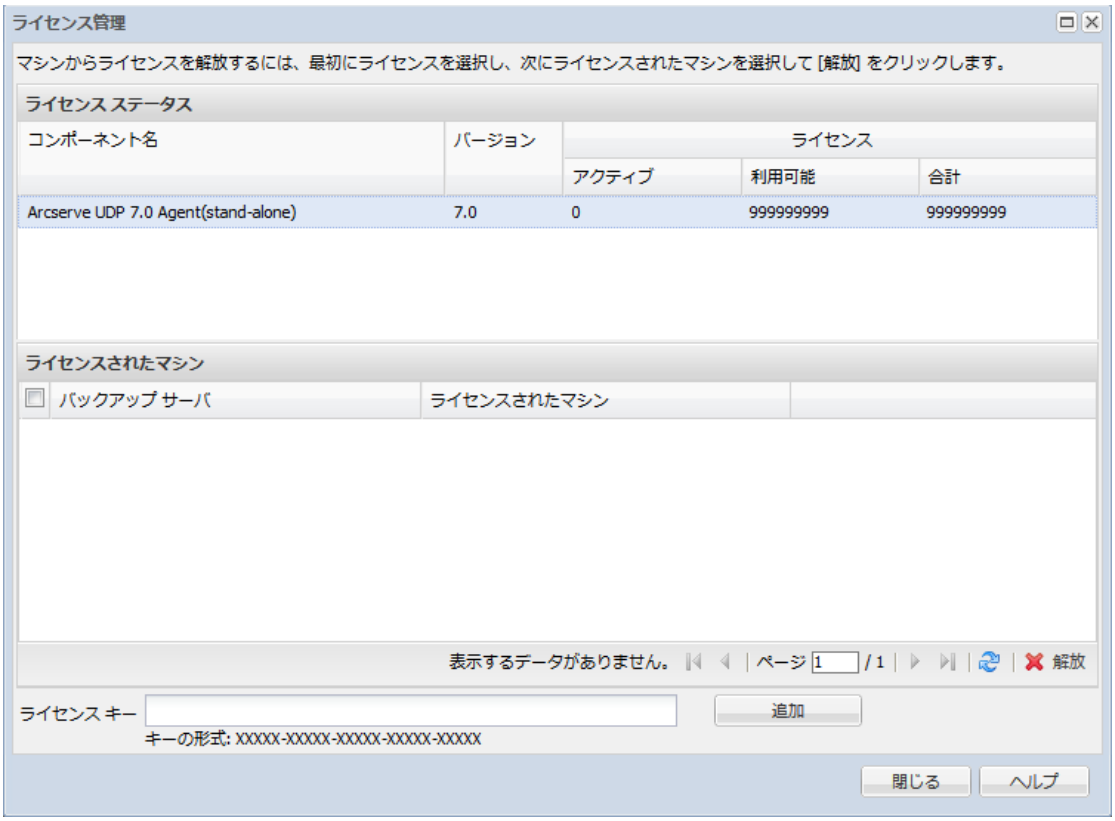
【UDP 7.0】

統合管理コンソールをご利用の場合には、ライセンス名が「Arcserve UDP 7.0 Premium Plus Edition - Managed Capacity」、合計が「無制限」、空き容量が「無制限」と表示されます。



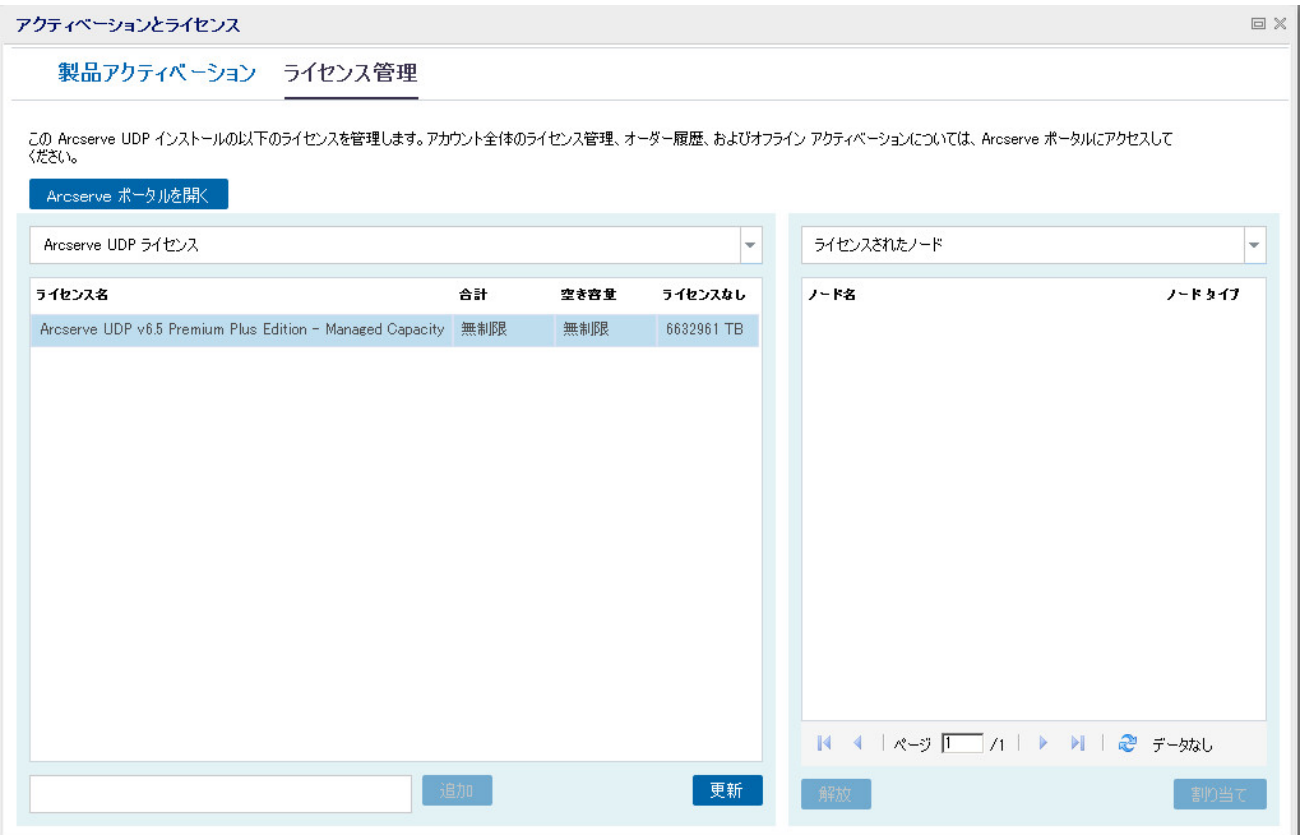
UDP 7.0（Windows エージェント）は、コンポーネント名が「Arcserve UDP 7.0 Agent(stand-alone)」、ライセンス数が「999999999」と表示されます。

UDP 7.0（Linux エージェント）は、コンポーネント名が「Arcserve UDP 7.0 Agent (stand-alone)」、ライセンスが「999999999」と表示されます。



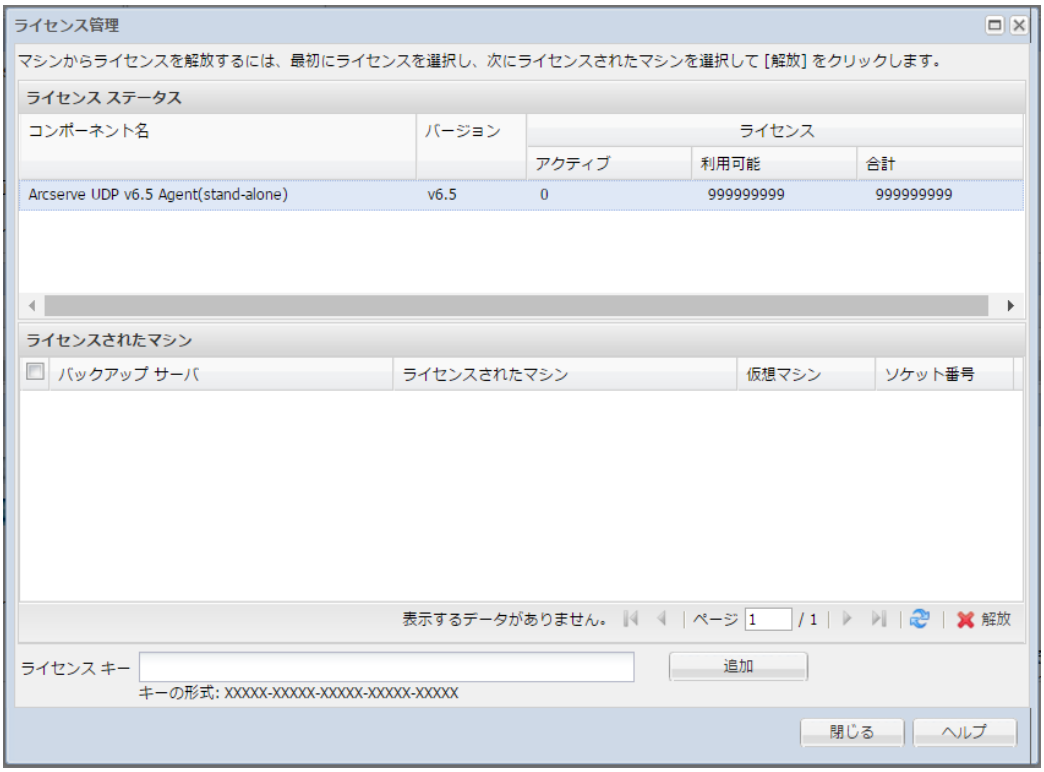
【UDP 6.5】

統合管理コンソールをご利用の場合には、ライセンス名が「Arcserve UDP v6.5 Premium Plus Edition - Managed Capacity」、合計が「無制限」、空き容量が「無制限」と表示されます。



UDP v6.5（Windows エージェント）は、コンポーネント名が「Arcserve UDP v6.5 Premium Plus Edition - Managed Capacity」、ライセンス数が「999999999」と表示されます。

UDP v6.5（Linux エージェント）は、コンポーネント名が「Arcserve UDP v6.5 Agent (stand-alone)」、ライセンスが「999999999」と表示されます。



【UDP 6.0】

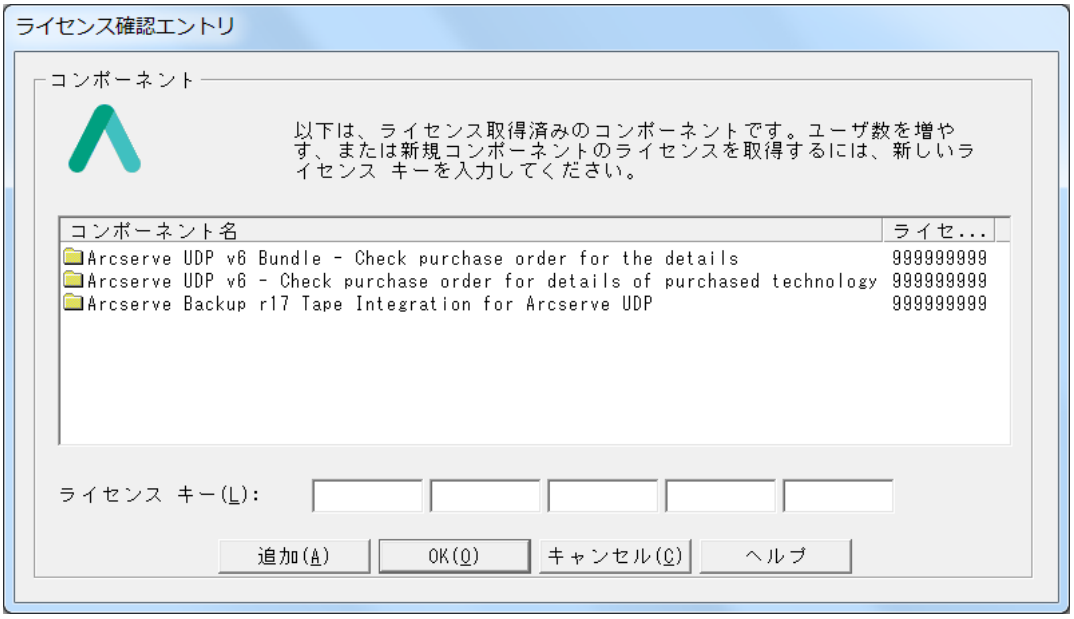
UDP v6 は、コンポーネント名が

「Arcserve UDP v6 Bundle – Check purchase order for the details」

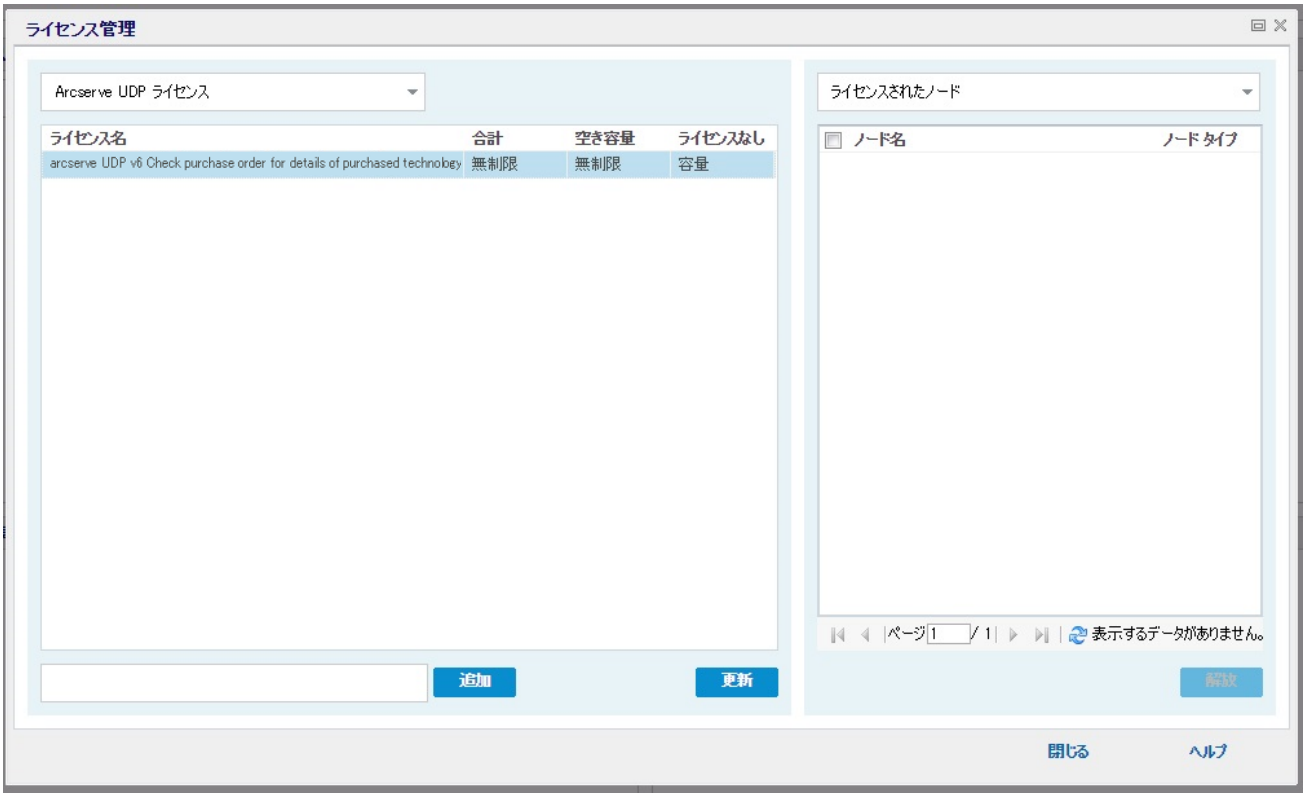
「Arcserve UDP v6 – Check purchase order for details of purchased technology」

「Arcserve Backup r17 Tape Integration for Arcserve UDP」、

ライセンス数が「999999999」と表示されます。



統合管理コンソールをご利用の場合には、ライセンス名が「arcserve UDP v6 Check purchase order for details of purchased technology」、合計が「無制限」、空き容量が「無制限」、ライセンスなしが「容量」と表示されます。



Arcserve UDP v6 - Advanced Edition – Socket の製品コンポーネント名について

Arcserve UDP v6 - Advanced Edition – Socket については、Golden Key 以外のライセンスキーを登録した場合も、登録済みの製品コンポーネント名は以下のように表示されます。

・表示されるコンポーネント名
Arcserve UDP v6 – Check purchase order for details of purchased technology

Arcserve UDP Standard/Advanced/Workstation にバンドルされた Arcserve Backup について

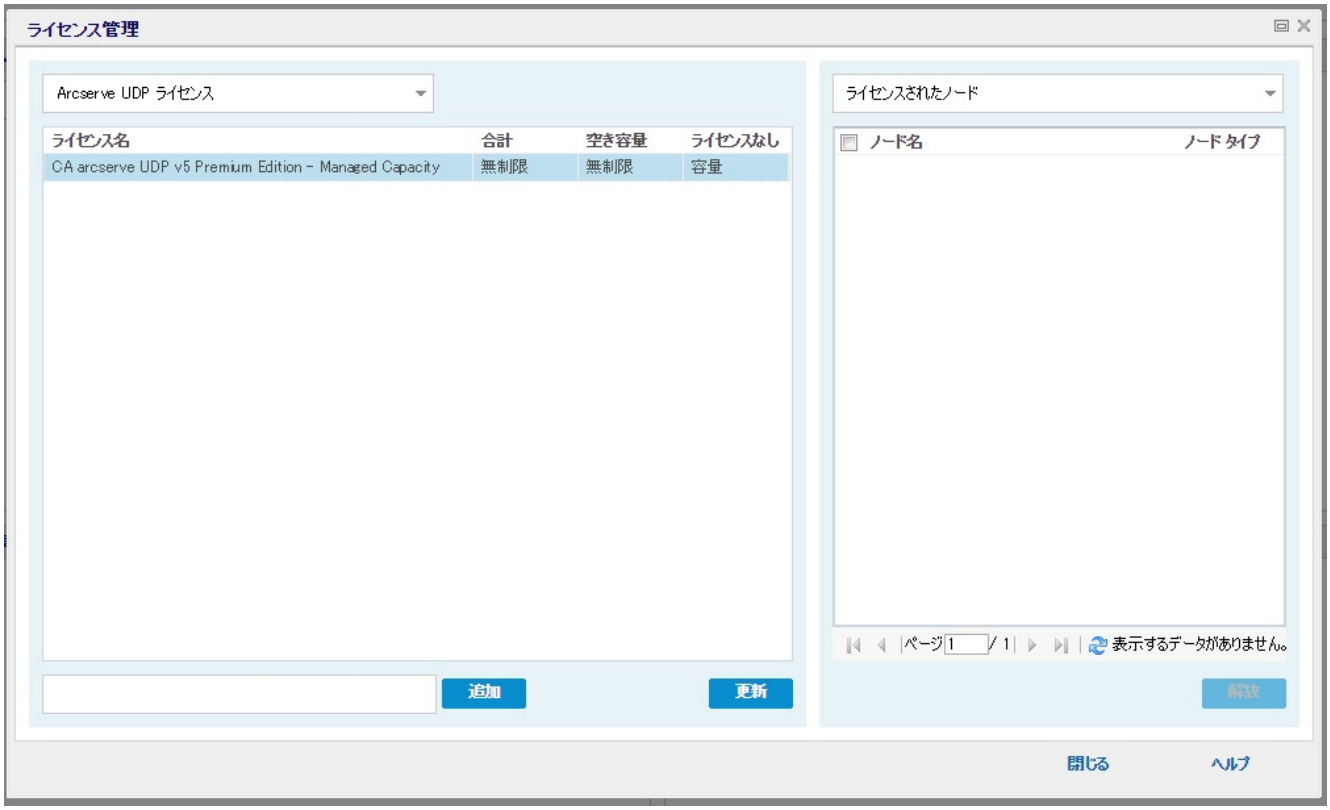
Arcserve UDP Standard/Advanced/Workstation バンドルされた Arcserve Backup のライセンスキーは、テープへの 2 次バックアップのみでご利用頂ける「機能制限付きのライセンスキー」になります。
テープへの 2 次バックアップをされない場合、ライセンスキーの登録は不要になります。

こちらを Arcserve Backup に登録頂いても Arcserve Backup のフル機能は利用いただけません。
Arcserve Backup のフル機能をご利用されたい場合は、Arcserve UDP Premium/Premium Plus にバンドルされた Arcserve Backup のライセンスキーか、Arcserve Backup のライセンスキーが必要となります。

【UDP 5.0】

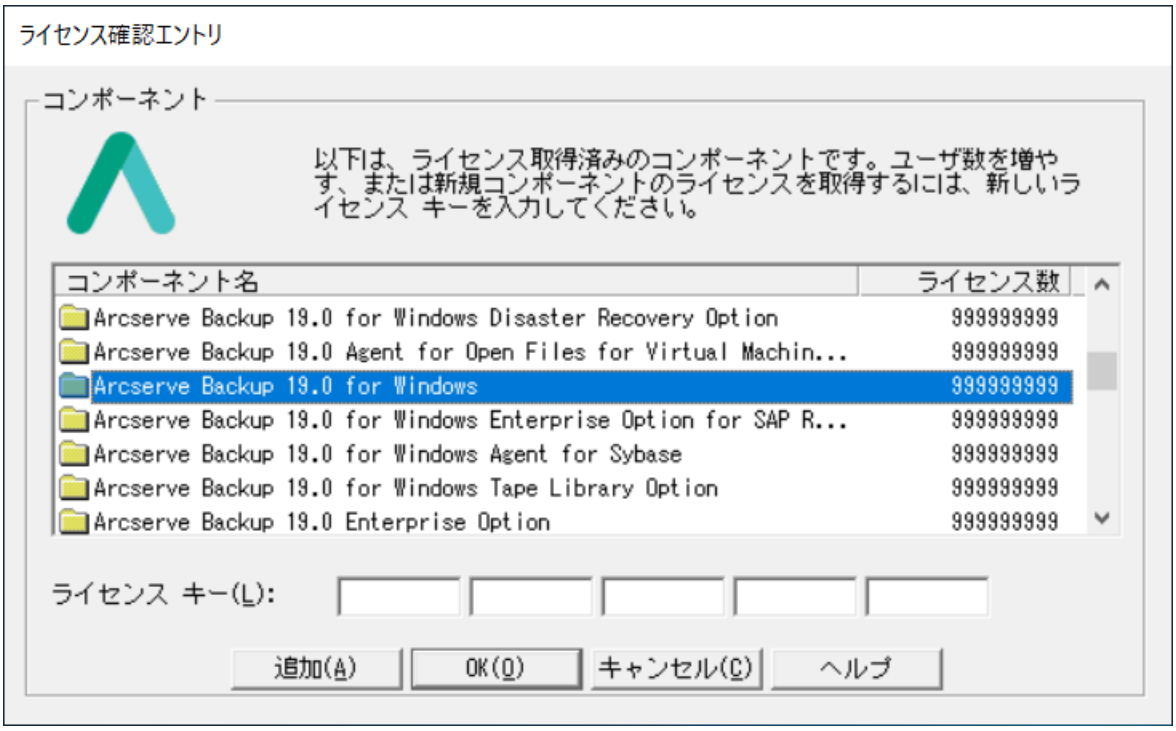
UDP v5 は、コンポーネント名が「CA arcserve UDP v5 Premium Edition - Managed Capacity」、ライセンス数が「999999999」と表示されます。

また、統合管理コンソールをご利用の場合には、ライセンス名が「CA arcserve UDP v5 Premium Edition - Managed Capacity」、合計が「無制限」、空き容量が「無制限」、ライセンスなしが「容量」と表示されます。

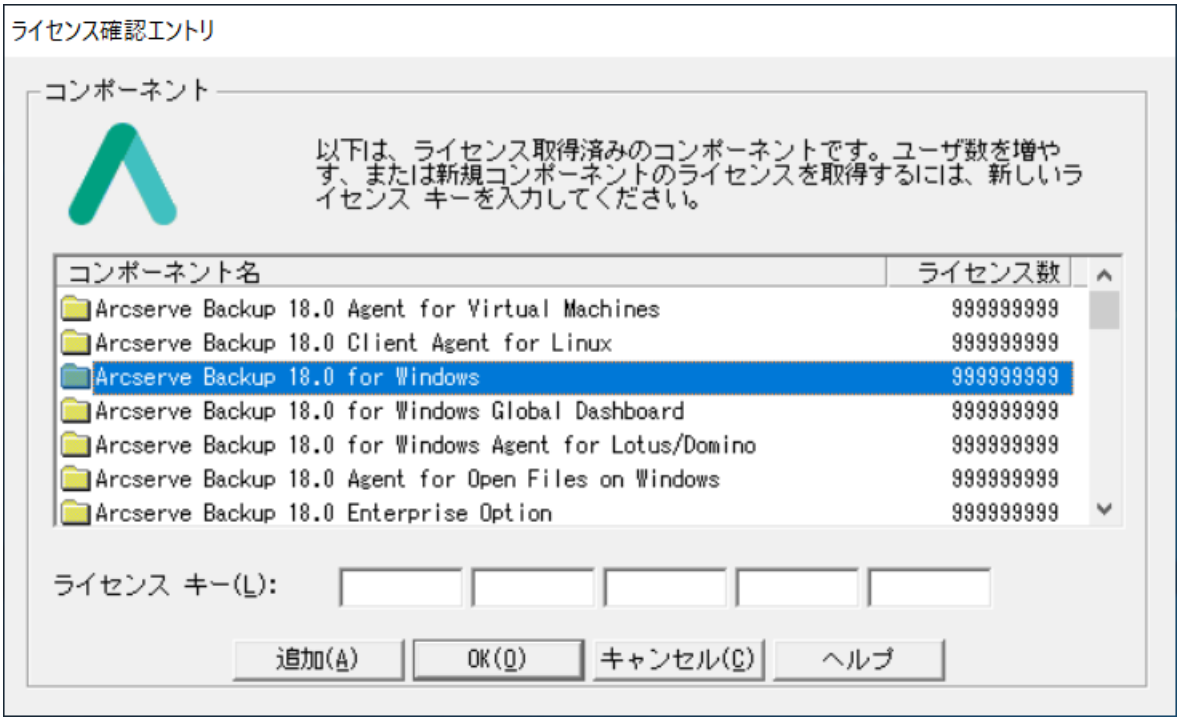


Arcserve Backup

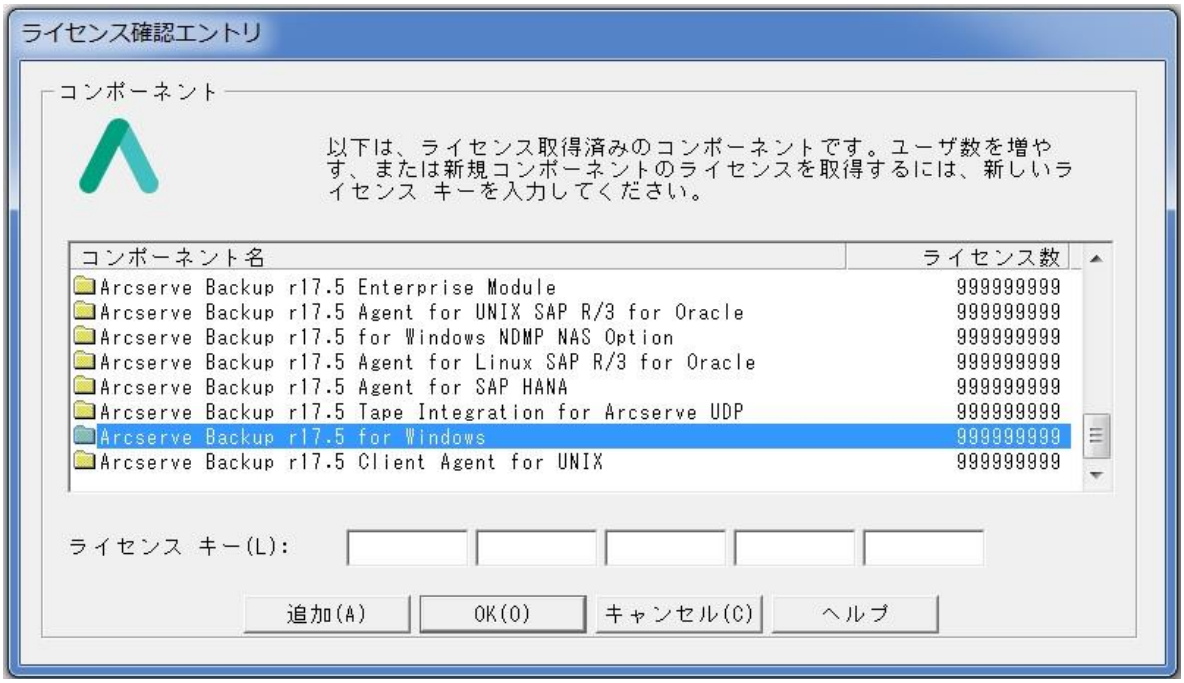
Arcserve Backup 19.0 は、全ての製品が表示され、ライセンス数「999999999」での表示となります。



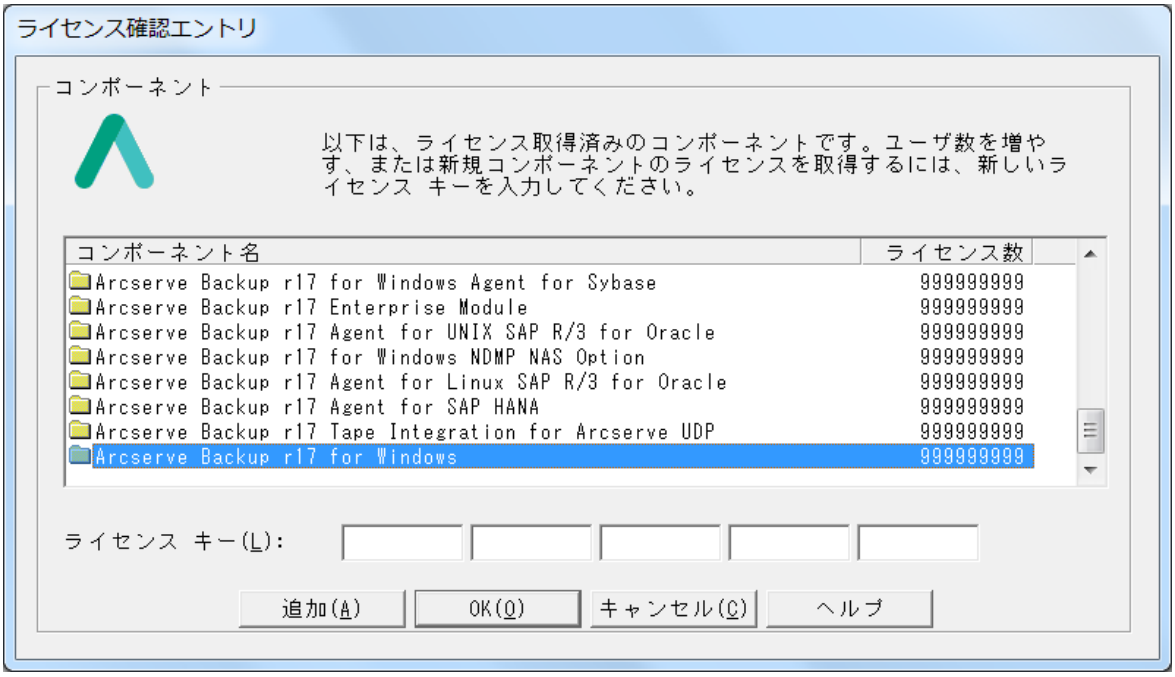
Arcserve Backup 18.0 は、全ての製品が表示され、ライセンス数「999999999」での表示となります。



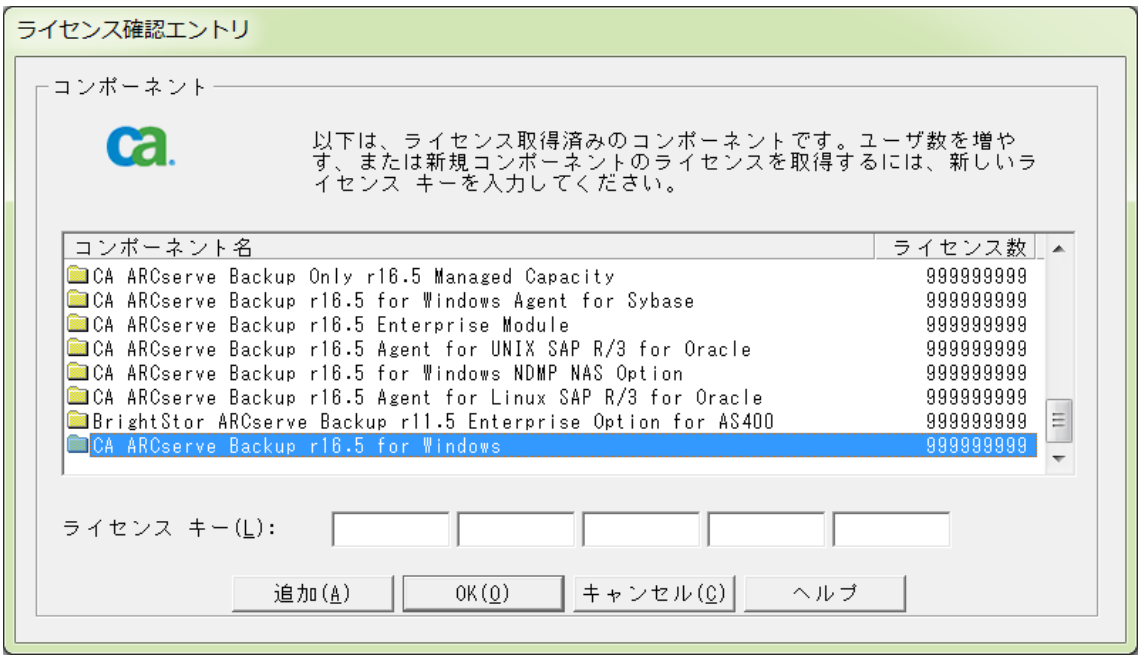
Arcserve Backup r17.5 は、全ての製品が表示され、ライセンス数「999999999」での表示となります



Arcserve Backup r17 は、全ての製品が表示され、ライセンス数「999999999」での表示となります。



Arcserve Backup r16.5 は、全ての製品が表示され、ライセンス数「999999999」での表示となります。



【Arcserve Backup Golden Key 登録時の注意事項】

(a) Arcserve Backup での Golden Key の登録は、インストール後に「CA_LIC」フォルダ（※）にあるプログラム「CALicnse.exe」からライセンスキー登録を行ってください。

※CA_LIC フォルダはデフォルトでは以下にあります。

Arcserve Backup r17 for Windows 以上のバージョン場合

x86 環境: C:¥Program Files¥Arcserve¥SharedComponents¥CA_LIC

x64 環境: C:¥Program Files (x86)¥Arcserve¥SharedComponents¥CA_LIC

Arcserve Backup r16.5 for Windows の場合

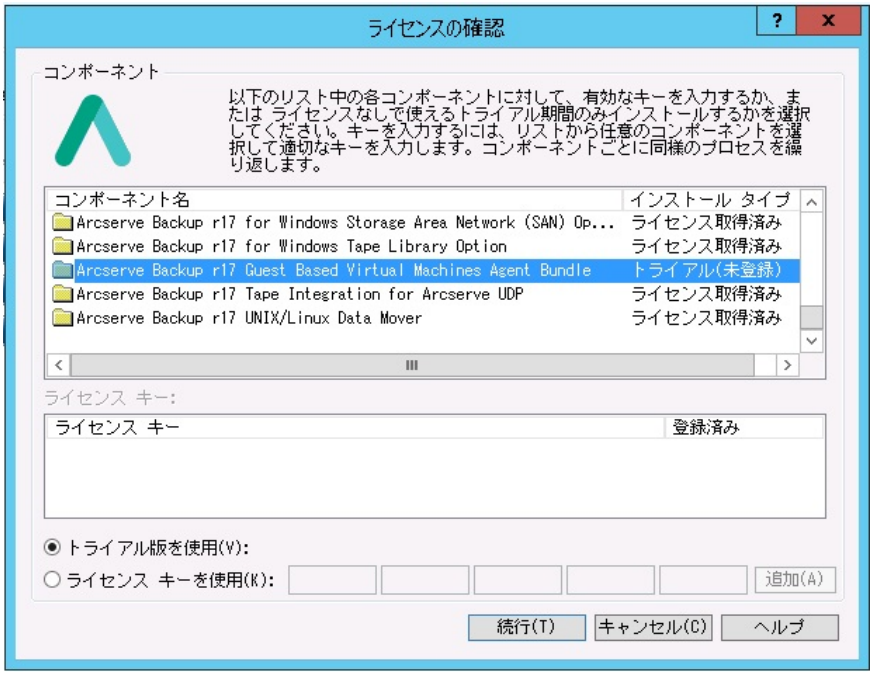
x86 環境: C:¥Program Files¥CA¥SharedComponents¥CA_LIC

x64 環境: C:¥Program Files (x86)¥CA¥SharedComponents¥CA_LIC

(b) Golden Key を適用後でも以下のコンポーネント名は[ライセンス確認]画面で「トライアル（未登録）」のままの表示となりますが製品利用上問題ありません。

「CA_LIC」フォルダにある「CALicnse.exe」を実行し表示される[ライセンス確認エントリ]画面上に、前述の表示が確認できていれば、Golden Key での登録が完了しています。

- Arcserve Backup Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
- Arcserve Backup for Windows SAN Secondary Server Bundle
- Arcserve Backup for Arcserve UDP



Arcserve Replication/High Availability

Arcserve Replication/High Availability 18.0 は、「Windows Enterprise Edition」のライセンス数「65535」、「UNIX/Linux」のライセンス数「65535」と表示され、High Availability の機能を示すインスタンス「HA」が表示されます。

Arcserve Replication/High Availability r16.5 は、「Enterprise Edition」のライセンス数「65535」と表示され、High Availability の機能を示すインスタンス「HA」が表示されます。